

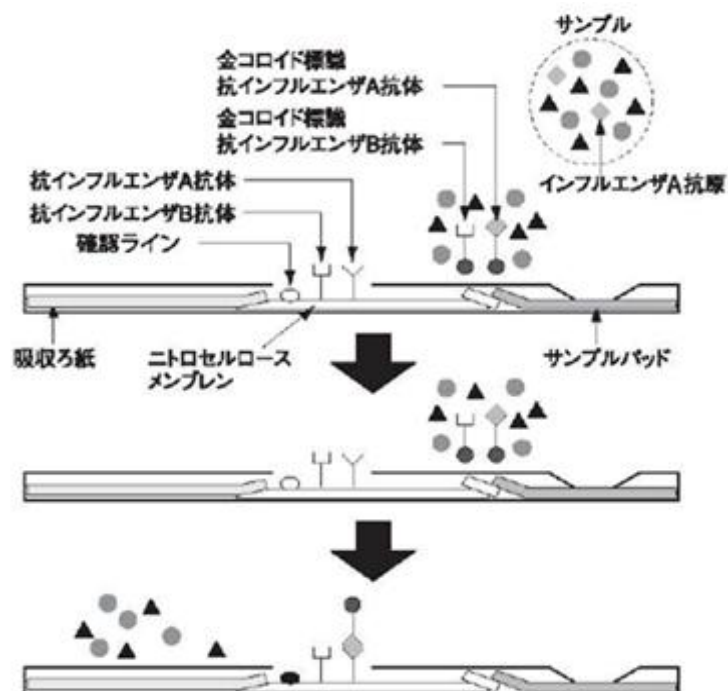
【質問】 ナノトラップの測定原理は？

【回答】

金コロイドクロマト免疫測定法により検体のインフルエンザ A 及びインフルエンザ B ウイルスを検出します。

インフルエンザ A ウイルス(又はインフルエンザ B ウイルス)が存在する場合、インフルエンザ A ウイルス(又はインフルエンザ B ウイルス)が毛細管現象により、テストプレート上の金コロイド粒子に標識された抗インフルエンザ A ウイルス抗体(又は抗インフルエンザ B ウイルス抗体)と結合し、更にこの結合体がろ紙の判定部の部分でライン上に各々に固定化された抗インフルエンザ A ウイルス抗体(又は抗インフルエンザ B ウイルス抗体)に捕捉され、インフルエンザ A ウイルス(又はインフルエンザ B ウイルス)が2つの抗体にはさまれた形の複合体を形成します。いわゆるサンドイッチ法として総称される測定原理です。

その結果、メンブレン上に金コロイド粒子が付着する形となり、判定部の抗インフルエンザ A ウイルス抗体固定化部位(又は抗インフルエンザ B ウイルス抗体固定化部位)に赤紫色のラインが現れます。またインフルエンザ A ウイルスとインフルエンザ B ウイルスが同時に検出された場合には、判定部に赤紫色のラインが2本現れることがあります。



出典：添付文書